



上橋菜穂子 ファンタジーの世界



守り人シリーズ

- ・『精霊の守り人』
- ・『闇の守り人』
- ・『夢の守り人』
- ・『虚空の旅人』
- ・『神の守り人①②』
- ・『蒼路の旅人』
- ・『天と地の守り人①②③』

守り人シリーズ外伝

- ・『流れ行く者』
- ・『炎路を行く者』

作：上橋菜穂子
 絵：二木真希子
 佐竹美保

偕成社ワンダーランド

守り人シリーズは外伝を含め全部で9作。「守り人」とつくタイトルの作品は、女用心棒バルサが主人公。「旅人」とつく作品の主人公は、皇太子チャグムです。

『鹿の王』上・下

作：上橋菜穂子
 株式会社 KADOKAWA

帝国から故郷を守るため、絶望的な戦いを繰り返した戦士団の頭ヴァンは岩塩鉱に囚われていた。ある夜、不思議な犬たちが岩塩鉱を襲い、謎の病が発生する。その隙に逃げ出したヴァンは幼子を拾い、ユナと名付け、育てるが…。過酷な運命に立ち向かう人々の“絆”の物語。
 第12回本屋大賞を受賞作品。



『狐笛のかなた』

作：上橋菜穂子
 新潮社文庫

小夜は人の心が聞こえる〈聞き耳〉の力を亡き母から受け継いだ。ある日助けた子狐は、この世と神の世の〈あわい〉に棲む霊狐・野火だった。隣り合う二つの国の争いに巻き込まれ、閉じ込められている少年・小春丸をめぐり、小夜と野火の、孤独でけなげな愛が燃え上がる。



獣ノ医師の母が処刑され、孤児となった少女エリン。蜂飼いのジョウンに助けられて暮らすうちに、山中で天を翔ける王獣と出会う。その姿に魅了され、王獣の医師になろうと決心するエリンだったが、そのことがやがて、王国の運命を左右することに…。

獣の奏者シリーズ

- ・①『闘蛇編』
 - ・②『王獣編』
 - ・③『探求編』
 - ・④『完結編』
 - ・外伝『利那』
- 作：上橋菜穂子
 講談社

『月の森に、カミよ眠れ』

作：上橋菜穂子
 絵：篠崎 正喜
 偕成社文庫

月の森の蛇ガミをひたすら愛し、一生を森で送ったハウスキノヒメ。その息子である蛇ガミのタヤタに愛されながらも、カミとの契りを素直に受け入れられない娘、キシメ。神と人、自然と文明との関わりあいを描く古代ファンタジー。



スタッフおすすめ！

『バルサの食卓』

上橋菜穂子
 チーム北海道 著
 新潮社文庫



バルサとチャグムが熱々をかきこんだ“ノギ屋の鳥飯”、タンダが腕によりをかけて“山菜鍋”、寒い夜に小夜と小春丸が食べた“胡桃餅”…などなど、上橋作品に出てきた憧れの料理が、レシピ付きで紹介されています。読んで、作って、味わって…あなたも物語の一員になれるかも？